



新商品紹介
本店販賣
香油、煤油、白粉、石鹼、化粧品問屋
東京日本橋區
よし屋御賣店
スノウ白粉發賣元

香
油
よし
屋
東
京
善

謹
告

店員
茂木
兵啓
三
右
兩
名
の
者
結
托
して
不
正
の
行
爲
自
今
當
店
に
關
係
無
之
候
此
段
各
位
間
に
謹
告
仕
候

明治四十年
十一月

丸見屋商店

は力及ばず、例年の通り來春初刊を以て

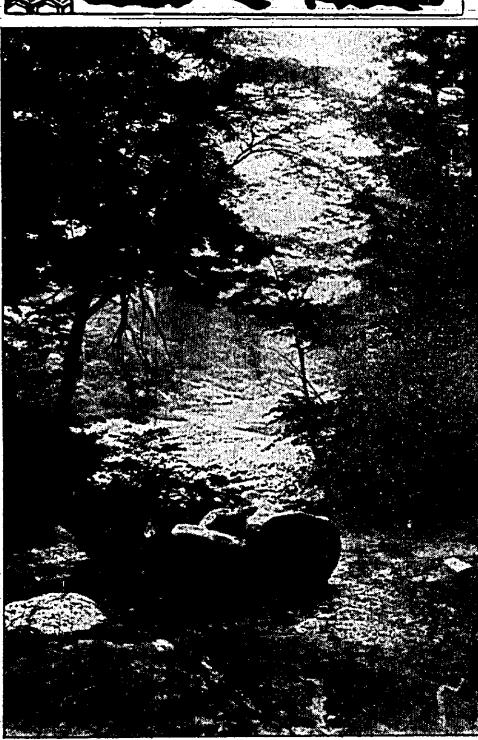
本年の終刊

本年の終刊

本年の終刊

十一日御活用

十一日御活用



北米合衆國社会製造會社



新着洗髮用
錠劑
HAIR SOAP
UNION BROS CO LTD VIOLETT HAIR SOAP FOR BOY AND GENTLEMEN REGISTERED

毛シャボン

御商宮本庄
東京市日本橋區馬喰町四丁目
振替金口座(一〇〇三一九)

BROCHE AND PIN!

本品ハ輸入防退ノ爲ニ數年以前ヨリ製作ニ研究シ今ヤ本邦ニ於ケル
下店ハ金屬裝飾品ノ製造工場ヲ本所区番場町ニ特設シ多數ノ職
工ヲシテ日々製造シタルミ代賣入一打ニ付金五拾錢以上五回迄銀製
品ハ五間以上貳拾圓迄
船來禁止立針及價格
立針及種類
立針及御注文
代金引換
代金引換
貴着之上萬一御不向之物品ハ到達ノ日ヨリ一週間
又ハ代金ヲ以テ速ニ御返送候成下候ニ御都合上他品ト御取替
尙婦人頭飾小間物ハ流行ノ代價成下候ニ御都合上他品ト御取替
命之策ヲ蒙り度候
最新の洗髮剤だる
の松葉油等

ノ節ハ大略ノ御指直ニ應シ御向ニ相叶ヒ可申様期

スベク候事文ニ對シテハ懸切ニ而モ御便宜ヲ相計リ

等ノ御申候ニ當リ申候

貴着之上萬一御不向之物品ハ到達ノ日ヨリ一週間

又ハ代金ヲ以テ速ニ御返送候成下候ニ御都合上他品ト御取替

尙婦人頭飾小間物ハ流行ノ代價成下候ニ御都合上他品ト御取替

命之策ヲ蒙り度候

最新の洗髮剤だる

の松葉油等

ノ節ハ大略ノ御指直ニ應シ御向ニ相叶ヒ可申様期

スベク候事文ニ對シテハ懸切ニ而モ御便宜ヲ相計リ

等ノ御申候ニ當リ申候

貴着之上萬一御不向之物品ハ到達ノ日ヨリ一週間

又ハ代金ヲ以テ速ニ御返送候成下候ニ御都合上他品ト御取替

尙婦人頭飾小間物ハ流行ノ代價成下候ニ御都合上他品ト御取替

命之策ヲ蒙り度候

最新の洗髮剤だる

の松葉油等

ノ節ハ大略ノ御指直ニ應シ御向ニ相叶ヒ可申様期

スベク候事文ニ對シテハ懸切ニ而モ御便宜ヲ相計リ

等ノ御申候ニ當リ申候

貴着之上萬一御不向之物品ハ到達ノ日ヨリ一週間

又ハ代金ヲ以テ速ニ御返送候成下候ニ御都合上他品ト御取替

尙婦人頭飾小間物ハ流行ノ代價成下候ニ御都合上他品ト御取替

命之策ヲ蒙り度候

最新の洗髮剤だる

の松葉油等

ノ節ハ大略ノ御指直ニ應シ御向ニ相叶ヒ可申様期

スベク候事文ニ對シテハ懸切ニ而モ御便宜ヲ相計リ

等ノ御申候ニ當リ申候

貴着之上萬一御不向之物品ハ到達ノ日ヨリ一週間

又ハ代金ヲ以テ速ニ御返送候成下候ニ御都合上他品ト御取替

尙婦人頭飾小間物ハ流行ノ代價成下候ニ御都合上他品ト御取替

命之策ヲ蒙り度候

最新の洗髮剤だる

の松葉油等

ノ節ハ大略ノ御指直ニ應シ御向ニ相叶ヒ可申様期

スベク候事文ニ對シテハ懸切ニ而モ御便宜ヲ相計リ

等ノ御申候ニ當リ申候

貴着之上萬一御不向之物品ハ到達ノ日ヨリ一週間

又ハ代金ヲ以テ速ニ御返送候成下候ニ御都合上他品ト御取替

尙婦人頭飾小間物ハ流行ノ代價成下候ニ御都合上他品ト御取替

命之策ヲ蒙り度候

最新の洗髮剤だる

の松葉油等

ノ節ハ大略ノ御指直ニ應シ御向ニ相叶ヒ可申様期

スベク候事文ニ對シテハ懸切ニ而モ御便宜ヲ相計リ

等ノ御申候ニ當リ申候

貴着之上萬一御不向之物品ハ到達ノ日ヨリ一週間

又ハ代金ヲ以テ速ニ御返送候成下候ニ御都合上他品ト御取替

尙婦人頭飾小間物ハ流行ノ代價成下候ニ御都合上他品ト御取替

命之策ヲ蒙り度候

最新の洗髮剤だる

の松葉油等

ノ節ハ大略ノ御指直ニ應シ御向ニ相叶ヒ可申様期

スベク候事文ニ對シテハ懸切ニ而モ御便宜ヲ相計リ

等ノ御申候ニ當リ申候

貴着之上萬一御不向之物品ハ到達ノ日ヨリ一週間

又ハ代金ヲ以テ速ニ御返送候成下候ニ御都合上他品ト御取替

尙婦人頭飾小間物ハ流行ノ代價成下候ニ御都合上他品ト御取替

命之策ヲ蒙り度候

最新の洗髮剤だる

の松葉油等

ノ節ハ大略ノ御指直ニ應シ御向ニ相叶ヒ可申様期

スベク候事文ニ對シテハ懸切ニ而モ御便宜ヲ相計リ

等ノ御申候ニ當リ申候

貴着之上萬一御不向之物品ハ到達ノ日ヨリ一週間

又ハ代金ヲ以テ速ニ御返送候成下候ニ御都合上他品ト御取替

尙婦人頭飾小間物ハ流行ノ代價成下候ニ御都合上他品ト御取替

命之策ヲ蒙り度候

最新の洗髮剤だる

の松葉油等

ノ節ハ大略ノ御指直ニ應シ御向ニ相叶ヒ可申様期

スベク候事文ニ對シテハ懸切ニ而モ御便宜ヲ相計リ

等ノ御申候ニ當リ申候

貴着之上萬一御不向之物品ハ到達ノ日ヨリ一週間

又ハ代金ヲ以テ速ニ御返送候成下候ニ御都合上他品ト御取替

尙婦人頭飾小間物ハ流行ノ代價成下候ニ御都合上他品ト御取替

命之策ヲ蒙り度候

最新の洗髮剤だる

の松葉油等

ノ節ハ大略ノ御指直ニ應シ御向ニ相叶ヒ可申様期

スベク候事文ニ對シテハ懸切ニ而モ御便宜ヲ相計リ

等ノ御申候ニ當リ申候

貴着之上萬一御不向之物品ハ到達ノ日ヨリ一週間

又ハ代金ヲ以テ速ニ御返送候成下候ニ御都合上他品ト御取替

尙婦人頭飾小間物ハ流行ノ代價成下候ニ御都合上他品ト御取替

命之策ヲ蒙り度候

最新の洗髮剤だる

の松葉油等

ノ節ハ大略ノ御指直ニ應シ御向ニ相叶ヒ可申様期

スベク候事文ニ對シテハ懸切ニ而モ御便宜ヲ相計リ

等ノ御申候ニ當リ申候

貴着之上萬一御不向之物品ハ到達ノ日ヨリ一週間

又ハ代金ヲ以テ速ニ御返送候成下候ニ御都合上他品ト御取替

尙婦人頭飾小間物ハ流行ノ代價成下候ニ御都合上他品ト御取替

命之策ヲ蒙り度候

最新の洗髮剤だる

の松葉油等

ノ節ハ大略ノ御指直ニ應シ御向ニ相叶ヒ可申様期

スベク候事文ニ對シテハ懸切ニ而モ御便宜ヲ相計リ

等ノ御申候ニ當リ申候

貴着之上萬一御不向之物品ハ到達ノ日ヨリ一週間

又ハ代金ヲ以テ速ニ御返送候成下候ニ御都合上他品ト御取替

尙婦人頭飾小間物ハ流行ノ代價成下候ニ御都合上他品ト御取替

命之策ヲ蒙り度候

最新の洗髮剤だる

の松葉油等

ノ節ハ大略ノ御指直ニ應シ御向ニ相叶ヒ可申様期

スベク候事文ニ對シテハ懸切ニ而モ御便宜ヲ相計リ

等ノ御申候ニ當リ申候

貴着之上萬一御不向之物品ハ到達ノ日ヨリ一週間

又ハ代金ヲ以テ速ニ御返送候成下候ニ御都合上他品ト御取替

尙婦人頭飾小間物ハ流行ノ代價成下候ニ御都合上他品ト御取替

命之策ヲ蒙り度候

最新の洗髮剤だる

の松葉油等

ノ節ハ大略ノ御指直ニ應シ御向ニ相叶ヒ可申様期

スベク候事文ニ對シテハ懸切ニ而モ御便宜ヲ相計リ

等ノ御申候ニ當リ申候

貴着之上萬一御不向之物品ハ到達ノ日ヨリ一週間

又ハ代金ヲ以テ速ニ御返送候成下候ニ御都合上他品ト御取替

尙婦人頭飾小間物ハ流行ノ代價成下候ニ御都合上他品ト御取替

命之策ヲ蒙り度候

最新の洗髮剤だる

の松葉油等

ノ節ハ大略ノ御指直ニ應シ御向ニ相叶ヒ可申様期

スベク候事文ニ對シテハ懸切ニ而モ御便宜ヲ相計リ

等ノ御申候ニ當リ申候

貴着之上萬一御不向之物品ハ到達ノ日ヨリ一週間

又ハ代金ヲ以テ速ニ御返送候成下候ニ御都合上他品ト御取替

尙婦人頭飾小間物ハ流行ノ代價成下候ニ御都合上他品ト御取替

命之策ヲ蒙り度候

最新の洗髮剤だる

の松葉油等

ノ節ハ大略ノ御指直ニ應シ御向ニ相叶ヒ可申様期

スベク候事文ニ對シテハ懸切ニ而モ御便宜ヲ相計リ

等ノ御申候ニ當リ申候

貴着之上萬一御不向之物品ハ到達ノ日ヨリ一週間

又ハ代金ヲ以テ速ニ御返送候成下候ニ御都合上他品ト御取替

尙婦人頭飾小間物ハ流行ノ代價成下候ニ御都合上他品ト御取替

命之策ヲ蒙り度候

最新の洗髮剤だる

の松葉油等

ノ節ハ大略ノ御指直ニ應シ御向ニ相叶ヒ可申様期

スベク候事文ニ對シテハ懸切ニ而モ御便宜ヲ相計リ

等ノ御申候ニ當リ申候

貴着之上萬一御不向之物品ハ到達ノ日ヨリ一週間

又ハ代金ヲ以テ速ニ御返送候成下候ニ御都合上他品ト御取替

尙婦人頭飾小間物ハ流行ノ代價成下候ニ御都合上他品ト御取替

命之策ヲ蒙り度候

最新の洗髮剤だる

の松葉油等

ノ節ハ大略ノ御指直ニ應シ御向ニ相叶ヒ可申様期

スベク候事文ニ對シテハ懸切ニ而モ御便宜ヲ相計リ

等ノ御申候ニ當リ申候

貴着之上萬一御不向之物品ハ到達ノ日ヨリ一週間

又ハ代金ヲ以テ速ニ御返送候成下候ニ御都合上他品ト御取替

尙婦人頭飾小間物ハ流行ノ代價成下候ニ御都合上他品ト御取替

命之策ヲ蒙り度候

最新の洗髮剤だる

</div

鶴の卵の石鹼及ラムスクリスムス石鹼

告 廣 附 品 景

販賣一同

一トライムスク石鹼 (大形販四打入)

一トライムスク石鹼 (小形四拾八打入)

一トライムスク石鹼 (小形拾打入)

一トライムスク石鹼 (小形参拾打入)

一トライムスク石鹼 (小形百拾打入)

一トライムスク石鹼 (小形五百拾打入)

一トライムスク石鹼 (小形一千百拾打入)

一トライムスク石鹼 (小形五千百拾打入)

一トライムスク石鹼 (小形一万拾打入)

一トライムスク石鹼 (小形三万拾打入)

一トライムスク石鹼 (小形五万拾打入)

一トライムスク石鹼 (小形十萬拾打入)

一トライムスク石鹼 (小形二十萬拾打入)

一トライムスク石鹼 (小形四十萬拾打入)

一トライムスク石鹼 (小形八十萬拾打入)

一トライムスク石鹼 (小形一百萬拾打入)

一トライムスク石鹼 (小形二百万拾打入)

一トライムスク石鹼 (小形四百万拾打入)

一トライムスク石鹼 (小形八百万拾打入)

一トライムスク石鹼 (小形一千六百万拾打入)

一トライムスク石鹼 (小形三千六百万拾打入)

一トライムスク石鹼 (小形六千六百万拾打入)

一トライムスク石鹼 (小形一万三千六百万拾打入)

一トライムスク石鹼 (小形二万三千六百万拾打入)

一トライムスク石鹼 (小形四万三千六百万拾打入)

一トライムスク石鹼 (小形八万三千六百万拾打入)

一トライムスク石鹼 (小形十六万三千六百万拾打入)

一トライムスク石鹼 (小形三十二万三千六百万拾打入)

一トライムスク石鹼 (小形六十四万三千六百万拾打入)

一トライムスク石鹼 (小形一百二十八万三千六百万拾打入)

一トライムスク石鹼 (小形二百五十六万三千六百万拾打入)

一トライムスク石鹼 (小形五百一十二万三千六百万拾打入)

一トライムスク石鹼 (小形一千零二十四万三千六百万拾打入)

一トライムスク石鹼 (小形二千零四十八万三千六百万拾打入)

一トライムスク石鹼 (小形四千零九十六万三千六百万拾打入)

一トライムスク石鹼 (小形八千零十九萬三千六百万拾打入)

一トライムスク石鹼 (小形一千六百零九萬三千六百万拾打入)

拜啓各位益々御盛榮奉大賀候陳者兼て御愛顧を蒙
り居候鶴の卵石鹼及ラムスク石鹼の販額逐日増
大し且今製造方に忙殺さるゝ盛況を呈するに至り
しは偏に各地花主諸彦の深厚なる御引立に依るも
のと満腔感謝する所に御座候若夫れ品質香氣に至
りては既に御認知の事なるを以て省略し唯販額増
大する程改善可仕方針なる事を誓言仕候本年も最
早年末に近づき候間聊か報恩の微意を以て今回壹
千相に對し左の如き方法の下に景品を贈呈仕候事
に致候然しながら此相數には定限あるを以て普く
各位の御注文に應じ得るや否や掛念致候間成るべ
く迅速に御申込あらん事を偏に奉願候敬具

副伸

例

に

依

り

期

限

内

に

付

豫

め

御

承

ら

御

注

文

を

御

断

り

可

申

候

に

付

豫

め

御

承

ら

御

願

候

上

候

上

候

上

候

上

候

上

候

上

候

上

候

上

候

上

候

上

候

上

候

上

候

上

候

上

候

上

候

上

候

上

候

上

候

上

候

上

候

上

候

上

候

上

候

上

候

上

候

上

候

上

候

上

候

上

候

上

候

上

候

上

候

上

候

上

候

上

候

上

候

上

候

上

候

上

候

上

候

上

候

上

候

上

候

上

候

上

候

上

候

上

候

上

候

上

候

上

候

上

候

上

候

上

候

上

候

上

候

上

候

上

候

上

候

上

候

上

候

上

候

上

候

上

候

上

候

上

候

上

候

上

候

上

候

上

候

上

候

上

候

上

候

上

候

上

候

上

候

上

候

上

候

上

候

上

候

上

候

上

候

上

候

上

候

上

候

上

候

<p

ばら歯磨園の快大景品!!! 引福的々

全國御得意諸君に謹告

本園は來る明治四十一年の新春を祝し併せて各位平素の御愛顧に酬ゆる爲め大々的奮發を以て左記の内規により景品附初荷發賣仕候間何卒陸續御注文被仰聞度伏して奉懇願候

ばら歯磨本舗 東光園 山根光次

景品附ばら歯磨初荷規定

發賣梱數 壱千梱

發賣期間

明治四十一年一月二日より同三十日迄とす

初荷梱の種類及一梱の員數と其價額

一詰合梱袋四打入一函に付金六拾四錢貳拾函入
桐一打入一打に付金參拾五錢參拾打入

一梱に付金貳拾參圓參拾錢

一特別梱袋四打入一函に付金六拾四錢四拾函入
一梱に付金貳拾五圓六拾錢

福引景品種類及籤數

一等	一	本	金庫價額壹百五拾圓又は(額面五拾圓整理公債 音器壹個價額壹百圓)又は(額面百圓整理公債 書壹枚)
二等	二	本	自轉車壹臺價額壹百圓
三等	三	本	金側時計一個(價額五拾圓宛 銀側時計一個(價額貳拾圓宛)
四等	五	本	裝飾名入函車一輛(價額拾六圓宛)
五等	十	本	手提金庫一個(價額參圓宛)
六等	二十	本	博多帶一筋(價額五圓宛)
七等	三十	本	縮緬帛紗一枚(價額貳圓宛)
八等	五十五	本	七百七十九本
九等	一百	本	置時計一個(價額壹圓五拾錢宛)
外		郵便はかき參拾枚宛	意匠新なる切手附繪葉書參拾枚宛

景品引換券の配附

景品引換券は之を明治四十一年度の高尚優美なる略曆に添付し各一梱に付き壹枚宛を挿入するものとす

但し本券は景品引換期間後は無効とす

抽籤

抽籤期日 明治四十一年三月七日午後二時

抽籤の場所 東京市丸の内中央亭

抽籤方法 抽籤の方法は東京毎日電報社の抽籤器を借り受け立會員として各代理店諸君及び都下各新聞社の記者諸君の御臨席を乞ひ覆面の小兒をして順次之を引き取らしむ

但し販賣店諸氏にして御立會御希望の御方は隨意御臨席有之
結果發表 抽籤の結果は明治四十一年三月十一日發刊の東京小間物化粧品
度候 商報紙上にて發表するものとす

景品贈呈

景品は明治四十一年三月十五日より同五月三十一日迄の期間内に東京本舗に於て景品券と引換に贈呈するものとす

但し景品の送達を望まる、御方は景品券御送附の際送料御添付被下度候

注文御申込

初荷梱の發送は注文書の到着順に從ふものとす
(注意) 右初荷梱は發賣期間内と雖も定數賣切の場合は乍遺憾御注文に應じ
難く候

代金取引

代金は初荷梱に限り特に現金取引のこと

東京市京橋區南紺屋町 東光園
大阪東區博勞町一丁目 大阪支店

化粧と化粧品 (その五)

化粧の進歩と化粧品發達の急務

三輪善兵衛若談

營業組織の相異 (ニヤシ)

乙、日本の當業組織
翻へつて日本に於ける當業の組織いかん
を見ますと、現状極めて微々たるもので、
規模の小さなこと、技術の幼稚なことも一
因でせうが、世間の之に對することも亦西
洋と全く相反して居ます。

即ち金融の關係からいひましても、倉庫

に預け入れても擔保品とはなりません、隨

つて金融機關が不便な上に、又文化用品に關し

ての専門の學者がなく、在來つた調和配合

がありません、

其上西洋の如きは日本

佛條約の示す如く政府

が保護して協定税率を

結んで居るのに反し、

日本では動もすると質

澤品であるから課税しなどい出し、保

護する處か反つて之を壓迫して居るのです

然るに先般の香料輸入税問題に就て、漸

く化粧品の經濟上の關係を知るやうになつ

て、幾分の便宜は得られるやうにはなりま

したが、肝腎の原料たる香料を輸入するの

に、直接に原産地から輸入するだけの大な

る規模を有して居るものがない、故に他國

のプローカーの手を經るので、品質に於て

も價格に於ても、全く不利益な方法を取り

つ、あるのであります。

原料を直輸入せよ。
そこで今後といはず、現在に於ても、外
國品と競争して、日本には日本人に適する

ことは、肝腎の原料たる香料を、他國のプロ
トカの手を經ずに、原産地から直輸入す
ることを考へねばなりません、それには規
模の大なること、資本の多額なることが
必要であります。然るに今日の如くに、小規
模の業者が互に競争の上での争をして居たのでは、逆も
に蜗牛角上の争をして居たのでは、逆も
その目的を達成することが出来ませんから、
此の大々的計畫の遂行は、

同業者團結

をして、販賣で輸入したならば、原産地
から低廉に輸入が出来る、それを各自に分
配して使用したら、今迄のやうに困難を

感じ、他國のプローカーに私せられること

はないでせう、更に進んでいひ

ますと、寧ろて、大資本を有する、原産地
會社を設立して、それを各自に分

重なる化粧品を買收するか、又は各

業に之なら、原

品の大發展が、自合同するかした

上に外敵に對して、香料をも兼ねて、

絶えて、故に化粧品が御手の内のも

と信じます、それ

より且つ高貴の御料云々をも買收するに於

ては、獨り兩氏の爲めに障害となるのみなら

ず上は高貴に對して不敬となり下は各社用

者に對して不忠なれば、此際断乎たる處置に

れつゝあるに彼の如く粗鄙の偽造品を欺き

出でざるべからずとて直ちに之が與證に

着手したるに公然偽造を敢てする彼等非人

のを助成すべき同臭の販賣者も既々指示す

るを得れば検事は直ちに起訴して公判も

行はれるであらう

東京星野の人造麝香
近來種々の化粧品あり注意の上御求あれ
御園白粉偽造事件の經過

商宇野八代三は裏に其偽造商標の登録を取

消されたるにも反省せず更に同臭の前科者

の肩書ある内田未吉といふ奸商と結託し大

大的に偽造を開始し八代三は東京御園の

御園白粉が高貴の御料に召させられ社會に

しめ居たるに伊東榮、三輪善兵衛の兩氏は

も信用せられて模範化粧品の隨一に數へら

れつゝあるに彼の如く粗鄙の偽造品を欺き

出でざるべからずとて直ちに之が與證に

着手したるに公然偽造を敢てする彼等非人

一大注意

和製の偽物續出せり特に米國製と御指定を乞ふ

東京星野の人造麝香

米國束髮前髪じん



人達麝香

トングボンノル

登録商標御注意を乞

特約店

貿易所

各地和洋小物店

御料白粉發賣元

丸見屋商店

本店

東京市日本橋區

元番手加地店

東京市日本橋區

於内外博覽會及共進會

花王石鹼八

評を博せり

化粧衛生經濟
を兼備せし家庭用の
石鹼として社會に高



金銀賞牌數個を受領す

花王石鹼本舗

東京馬喰町二丁目

大阪安土町四丁目

大崎組商會

富郎

瀬

長

都

花

花の都白粉

花の都玉白粉

花の都白粉

花の都玉白粉

花の都白粉

○商業觀察の爲め三ヶ月間米國在りて、此地臨朝したる某氏の廣告。該中最強なる現地の廣告法を取したものあり、時に或は讀者の不快を買ふものなどを保つ難いも、是亦専門の一針一子し。

○日本の廣告ですか、まあ餘り進歩したるものを見當りませぬな、一體日本の商業家は寸半米國あたりの新聞を調べて居ると、大いに廣告の参考になる事があるのですけれど、一向其邊の事に注意して居る人はないやうです。

○それに日本との新聞を見て居ない

○米國では廣告と云ふ點良と云ふ點

○外國の商業事情でも研究して、其長所を探

○その下に半段で五號活字のコマーチした寶

○薬の廣告がある、遠慮のを讀むと近眼に

○なる、其下の二段廣告は初號と二號で、文

○章が奇抜で簡潔だ、態々讀まなくとも一寸

○眼を通した丈で、もう其廣告の要旨が頭腦へ這入る、それなら什麼忙がしい人でも見逃してなし

○處が又此別な新聞を

○此新聞にも同様の組方見給へ此奇抜な廣告が

○店員が頭腦に奇抜つて居る、これぢや

○前項に忠勤なる片野氏を紹介し茲に丸見屋

○は永く同店の後生を顧ますと同時に氏の將

○立して營業すると否とに論なく片野氏の名

○係の隔を挿せず全く自家の營業の如く主従

○を離れて親子の如く親子を並めて自己の如

○く陰陽の區別なく内外の事務に執掌して店

○主標榜の二十世紀的商店たらしむるに志す

○べき行動を以て終始したる由なれば將來獨

○に至し忠勤勤勉その身を忘れ絶えて雇用

○するべく期し居れりといへり今同店に就て聞

○く所によれば同氏は年期中能く店主の爲め

○來品に優る品質を有するは

○目下化粧石鹼は粗製濃造の極に

○達す選擇に意を用ひされば其害

○拂しに本邦衛生化粧用とし前

○研究のからをして居る中には廣告を書

○一だけで莫大な俸給を貰つて居るものもあ

○云ふ事はあるのなか聞く方で澤山と

○云ふ事は止さう又來たまへ。

(東京風俗)



廣告闇談

松 樓 生

○商業觀察の爲め三ヶ月間米國在りて、此地臨朝したる某氏の廣告。該中最強なる現地の廣告法を取したものあり、時に或は讀者の不快を買ふものなどを保つ難いも、是亦専門の一針一子し。

○日本の廣告ですか、まあ餘り進歩したるものを見當りませぬな、一體日本の商業家は寸半米國あたりの新聞を調べて居ると、大いに廣告の参考になる事があるのですけれど、一向其邊の事に注意して居る人はないやうです。

○それに日本との新聞を見て居ない

○米國では廣告と云ふ點良と云ふ點

○外國の商業事情でも研究して、其長所を探

○その下に半段で五號活字のコマーチした寶

○薬の廣告がある、遠慮のを讀むと近眼に

○なる、其下の二段廣告は初號と二號で、文

○章が奇抜で簡潔だ、態々讀まなくとも一寸

○眼を通した丈で、もう其廣告の要旨が頭腦へ這入る、それなら什麼忙がしい人でも見逃してなし

○處が又此別な新聞を

○此新聞にも同様の組方見給へ此奇抜な廣告が

○店員が頭腦に奇抜つて居る、これぢや

○前項に忠勤なる片野氏を紹介し茲に丸見屋

○は永く同店の後生を顧ますと同時に氏の將

○立して營業すると否とに論なく片野氏の名

○係の隔を挿せず全く自家の營業の如く主従

○を離れて親子の如く親子を並めて自己の如

○く陰陽の區別なく内外の事務に執掌して店

○主標榜の二十世紀的商店たらしむるに志す

○べき行動を以て終始したる由なれば將來獨

○に至し忠勤勤勉その身を忘れ絶えて雇用

○するべく期し居れりといへり今同店に就て聞

○く所によれば同氏は年期中能く店主の爲め

○來品に優る品質を有するは

○目下化粧石鹼は粗製濃造の極に

○達す選擇に意を用ひされば其害

○拂しに本邦衛生化粧用とし前

○研究のからをして居る中には廣告を書

○一だけで莫大な俸給を貰つて居るものもあ

○云ふ事はあるのなか聞く方で澤山と

○云ふ事は止さう又來たまへ。





直接取引の心得 (水前)

現時に至りては支那製の縫針は全國其跡影だも留めざるに至りたり。當地の如き競争市場の大取引に付ては往々此縫針販賣の如き競争手段を實行することある状況なるに本邦内地の當業者は商品の見本を寄送すると同時に其取引の成否を問合せることには頻々たり尙ほ最も甚敷は見本寄送すれば直ちに大取引きの開始を引継ぎ間合せ來るもの殆んど十中の八九に居れり對外貿易の大取引を以て斯る容易なるものと考へ居る故一旦見本を送て一二ヶ月の間に其取引きを見ざるときは忽ちにして倦怠の念を生じて其の希望を中絶し再び之を顧みざるものあるかの如くに至るならん斯る短氣なる貿易の方針にては到底と云ふべきであるなり歐米商人が支那商人に對する取引状態を見るに現品引替へ勘定或は荷物替など云ふ如き一時限の取引きの外支那人の頗る面倒ならと感する所たり本邦商人が徒らに現金の領收を急がば其事業が常に個々分裂なるを以て其資金の潤澤ならざるに在るならんとす折の如き分裂的態度にては到底世界の市場に加入することは萬不可能なること

伊勢吉善美禮堂販賣の善美禮白粉及善美禮

評判記

の盛況

● 善美禮白粉と洗粉と

本邦より當地に輸入する我商品に對しては

本邦商人が詐偽の行為を逞し其「イ

ンボイス」の信用す

べからざるを以て多

くの鑑定價格に準じて課税するものとす

是を以て關吏は大事

を取りて成るべく充

分の價格を定めんと

し輸入者は課税の多

額なるを避けて成る

べく其價格を少許な

らしめんとする所よ

り常に關吏の鑑定價

格と相違を求めて爭

議の生ぜざることな

し然るを一時の輸入者の或る者に至つては

商品引渡しを急ぎ一日も

に其代金の

領收を希望する所

より關吏が豫定せる價格

と相違を求めて争

議の生ぜざることな

し然るを一時の輸入者の或る者に至つては

商品引渡しを急ぎ一日も

(一十) 號七廿百四第



頃日各國より賛同の意向に付通牒を受けて、
點の結果は、偏に諸君の勉強如何にありと
云ふと憚からざるなり、
て之を一に集めて、大に世界各國との優劣を
争ひたきなり、余は諸君の計畫にして是な
るならんと思惟す、博覽會事業に關し、日
本に於ても全國商業會議所が其中堅と爲る
るべからず、諸君歸國の上は此目的に付
て調査研究をなし、其方針を確定し、而し
て之を一に集め、大に世界各國との優劣を
争ひたきなり、余は諸君の計畫にして是な
りと認むるときは、己を空虚して之を察
るゝに答へざるものなり、故に此の決勝
の競争の結果は、偏に諸君の勉強如何にありと
來會者諸君に於ても、以上の諸事實に徵
充分注意を拂はれ、大に奮發せられんこと
の余の希望する所なり、
頃日坊間の説として、日本大博覽會の開設
を五十年に延期せんとす。若し説者の女
くせんか、折角熟したる好機を逸し、略無
たる間に何れの國に機先を制らせる。是
火を見るより明なり、即ち俗言を以て評す
れば棚より落ちたる牡丹餅を他人に奪は
る類なり、既に獨逸は我が國の博覽會開設
を聞き、自國の開設を見合せたりと云ふ
故に余は日本大博覽會を五十年に延ばす。
如きは、實に國家の一大不利なりと叫ば
るを得ず、實に日本の發展を圖るには此
機を逸して將た何れの時かある、日本大博
覽會の効果を擧ぐるには、工商業の機關た
くにありては歸國幹部の心得を以て、大に
御盡力あらんことを切望す。
世界各国に於て、博覽會の成功者は佛國で
り、佛國は廿年前より博覽會協會なる
の設けられ、常設の委員會に於て博覽會に
する研究調查を爲し、自國に開設すべ
く機を逸して將た何れの時かある、日本大博
覽會の効果を擧ぐる所ありて、商務大臣は既に
此委員の研究計畫に依りて萬事を決する事
ととなり居れり、是れ其の成功したる所以
は勿論、外國博覽會參謀本部を以て任じ
方には歸國幹部の心得を以て、大に御盡力
あらんことを切望す。





株式会社
大和石鹼
無限責任

毛髪ノ麗ハ
男女髪

容貌美御料力スガオイル

（加増チ）
一薬種小間物化粧品雜貨商の小賣店にしてウキ
ワ石鹼を販賣せざる商店は同業者間に信用な
き商店なり

一薬種小間物化粧品雜貨商の小賣店にしてウキ
ワ石鹼を來客にス、メざる商店は德義の何者
たるを知らざる我利く商店なり

水晶おしるいの特長は人目に立たず天性の
白色美人と見せしむるにあり
故に婦女子は勿論男子にても缺くべからざる
化粧料とす

純良石鹼にして芳香に富み泡沢極めて多く効用著
大なら且つ海水及び温泉湯泉にても用ゆるに耐ゆ

本舗 東京通 増田
大和石鹼商店

UK IWA SAVON

標 蘭 美 髮 油
煉香油ハ毛髪ノ養育ヲ助ケ發賣元東京
美龍ナラシムル特功顯著也 小川潮華園

支那人の詩に綠髮誰が爲めに梳ると云ふ文句があるが妙齡の婦人が鏡に向つて紅を彩り白粉を塗りつけ道を歩くにも眉頭を撫廻して只管容貌態度を粗らに苦心するのは鍋の雄が美しい羽色と美しい鳴き聲で雌の注目を惹き依りて以て其愛を買はんとする同様少しも餘計男の注意を惹き少しまより良き配偶を求めていた爲であることは云ふまでもない所であつて此自分の容貌を美しい見せて良い買手を求める情に至りては東西人情に相違ないことは勿論であるが併し東と西と國情習慣風俗が異なるだけ其妻の運動や方法に至りては非常の相違がある即ち我國の婦人では求婚運動と云つても古來單に容貌を美しく見せ掛けて買手のつくのを待つが普通で新聞の廣告を利用して婚姻を求める位が關の山で夫をやうやく近頃の流行である。斯様に我國の處女の求婚運動は何とか云へば寧ろ消極的効果的であるに反し西洋は女權の酷く擴張され居るに於て云へば隨分猛烈で何の事はない其激烈の度は我國の選舉競争に譲らぬ位である斯うである今現に英帝國の外務省通商局長をして居る人にメリーと云ふ令嬢がある



(東京俗風)

支那人の詩に綠髮誰が爲めに梳ると云ふ文句があるが妙齡の婦人が鏡に向つて紅を彩り白粉を塗りつけ道を歩くにも眉頭を撫廻して只管容貌態度を粗らに苦心するのは鍋の雄が美しい羽色と美しい鳴き聲で雌の注目を惹き依りて以て其愛を買はんとする同様少しも餘計男の注意を惹き少しまより良き配偶を求めていた爲であることは云ふまでもない所であつて此自分の容貌を美しい見せて良い買手を求める情に至りては東西人情に相違ないことは勿論であるが併し東と西と國情習慣風俗が異なる

西女の求婚運動

此メリー嬢は一笑百媚生ずと云ふべき美人で現在交際界の花と認はれて居るが此令嬢が必ず外交官中の腕利と稱せられて居る

一鷹春碧海宗匠選題

俳句披閱

寒梅 騎馬行幸

有隣

阿波 有隣

神奈川 三十三

横濱 横濱

櫻 坡

紀伊 景

深川 雪

志

銀

月

露

山

素

露

溪

月

露

山

山

月

露

山

月

露

山

月

露

山

月

露

山

月

露

山

月

露

山

月

露

山

月

露

山

月

露

山

月

露

山

月

露

山

月

露

山

月

露

山

月

露

山

月

露

山

月

露

山

月

露

山

月

露

山

月

露

山

月

露

山

月

露

山

月

露

山

月

露

山

月

露

山

月

露

山

月

露

山

月

露

山

月

露

山

月

露

山

月

露

山

月

露

山

月

露

山

月

露

山

月

露

山

月

露

山

月

露

山

月

露

山

月

露

山

月

露

山

月

露

山

月

露

山

月

露

山

月

露

山

月

露

山

月

露

山

月

露

山

月

露

山

月

露

山

月

露

山

月

露

山

月

露

山

月

露

山

月

露

山

月

露

山

月

露

山

月

露

山

月

露

山

月

露

山

月

露

山

月

露

山

月

露

山

月

露

山

月

露

山

月

露

山

月

露

山

月

露

山

月

露

山

月

露

山

月

露

山

月

露

山

月

露

山

月

露

山

月

露

山

月

露

山

講 談 内附の面 第四席 邑井一講演 今村次郎速記

此頃では大人も及ばぬやうになつたから、吉兵衛も世話を申す事のあるのを喜んで、どうも感心、押付け天下の名人にならう、併し此んな處に居つて仕方がない。私の三軒先に家が一軒空いた、丁度宜い、少し位な金は私用立つて進せるなら、職人でも置いて給出してやんせへ。有難う存じます、何分どうかお願ひ申します。ソコで根岸から坂本通りへ移つて、頃では阿母を樂に養ひ、職人を二三人使わうになつた、其内に十六、十七、十七になると、阿母も大きめ安心をした、スルとあります。一人の老僧が来て、私は四谷の大宗主の住持、今度閻魔様を折らへるのだが、いつも頭を彫つて貰ふ人がない、お前さんなら確かだと見貰つたが、どうだらう頼むねては呉れまいか。斯ういはれて見ると忌みはいへない。エ、宜しうござります、出でるだけ殆めて見ませう」と説合つた。夫から精進潔淨で細工に掛つて一生懸命に彫たのが二ツ、名人になる人は遠く、其の中の一つを自分の家の軒下へ出して置く、フルと夜半に往来をする者が、此處の家の前まで来るとキヤツといつて逃げ出す、翌朝は何事もない、又其の翌晩になるとキヤツといつて中には目を廻す眼病者もある。リ夜が明けると家主の吉兵衛がふと「エ、工是は家主さん、家主さんぢやねへ、どうも詫ねられへ申感をしちやア困つた。」と申してか、「見たが那ア何だ、」と聞きた。「實は是で、御覽なすつて下さり」と聞きたるといふ説判だ。眞遺と思つて公が作成の頭を其處へ持出した、「ナニ是ぢやアねへ、モウ些ど何だ、」と又「一ツ出した、同じやうな閻魔だが、家主が思はず

講談
肉附の面

邑井一講演
今村次郎速記

らばやゑかよりはか

小判石檢

東電話本局本公司三町一
五二二三四三一

花籠白粉
花籠肉白粉
花籠乳色化粧水
花籠透明化粧水
花籠透明明白粉

第一〇四第錄登匠意
附栓壩籠花

貴に期時ノ日

多數の婦人令嬢は如何なる品を要しつゝあれ
リームな論より證據特種山町
りの如何なり販行約同近源
の盛なる! 店鋪通鑑可
佐大村佐々木屋
京橋研堀同萬曉町
東光園竹問花玉井
材瀬公名古屋末廣町

石三郎 大阪梅勞町
小林支店 元賣發 東京日本橋院村松町
會社 日の出商店 會社
總經理 舊居三八二一四
總經理 舊居七〇五五七七



百華堂事 大平均

百助商店造花部

從來造花業仕居候節ハ各位ノ御引立ヲ蒙リ難有御禮申上候今回百助商店造花部新設ニ付不肖同部主任ニ身ヲ投シ製品ハ勿論半製品及材料一式販賣仕候間從來ノ御禮ヲ兼ネ茲ニ御披露申上候

袋物問屋
特別製造
紙幣入類
銀貨入類
烟草入類
千代田袋類
○○○○○
御守巾着類
金具付帶類
流行品種
意匠品各
其の他袋物一式
右各種大勉強仕候間多少
共御用命願上候
但し前金を要せず荷着の事

造花部開業廣告
今般造花部ヲ新設仕リ造花製品材料、半製品ヲ
専ラ誠實廉價ニ販賣仕候ニ付多少共御引立御
用命被下度候

美濃術用先手剣キヤウ

參議東京櫻町股田盛眞
特約店全國小間物語品御組合





銅田保止各種

製造販賣
阪本長次郎

化粧

リミー白粉

京源

野

東京

市

日本

橋

區

横

山

町

三丁目十一

号

室

内

中

心

地

上

高

等

付

向

仰

御

用

販

賣

正

保

止

各

種

銅

田

保

止

各

種

銅

田

保

止

各

種

銅

田

保

止

各

種

銅

田

保

止

各

種

銅

田

保

止

各

種

銅

田

保

止

各

種

銅

田

保

止

各

種

銅

田

保

止

各

種

銅

田

保

止

各

種

銅

田

保

止

各

種

銅

田

保

止

各

種

銅

田

保

止

各

種

銅

田

保

止

各

種

銅

田

保

止

各

種

銅

田

保

止

各

種

銅

田

保

止

各

種

銅

田

保

止

各

種

銅

田

保

止

各

種

銅

田

保

止

各

種

銅

田

保

止

各

種

銅

田

保

止

各

種

銅

田

保

止

各

種

銅

田

保

止

各

種

銅

田

保

止

各

種

銅

田

保

止

各

種

銅

田

保

止

各

種

銅

田

保

止

各

種

銅

田

保

止

各

種

銅

田

保

止

各

種

銅

田

保

止

各

種

銅

田

保

止

各

種

銅

田

保

止

各

種

銅

田

保

止

各

種

銅

田

保

止

各

種

銅

田

保

止

各

種

銅

田

保

止

各

種

銅

田

保

止

各

種

銅

田

保

止

各

種

銅

田

保

止

各

種

銅

田

保

止

各

種

銅

田

保

止

各

種

銅

田

保

止

各

種

銅

田

保

止

各

種

銅

田

保

止

各

種

銅

田

保

止

各

種

銅

田

保

止

各

種

銅

田

保



東京勵業博覽會に於て
一等賞牌を受領し

東宮殿下より御買上の榮を賜はる

一號は品質純良一度使用すれば麝香々ミレの匂ひ數日身體に蒸り香水の代用を爲す

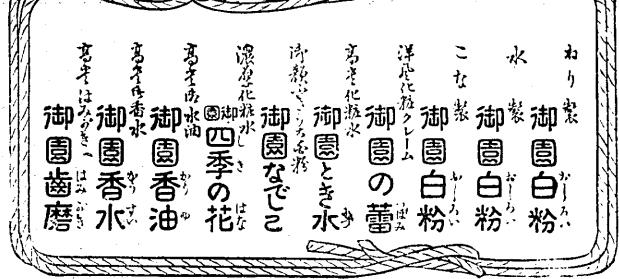
二號は形甚だ大芳香濃郁として化粧衛生經濟を兼備せし佳品なり

貳壹號 香水代用 入麝香入香水

芳誠 舍



新用年繪兼書最新刊廣告



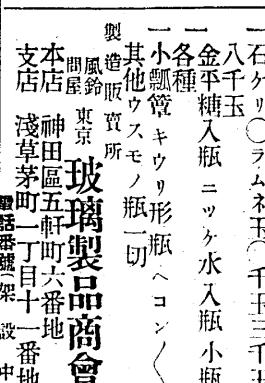
卷



卷之三



貴婦人用
直新洋行
毛髪の發育を助け匂ひよくさ
らさらとしてよき艶を出す
開花ムスク石鹼本舗
開花ムスク石鹼本舗
東京東兩國 岡崎屋市太郎
(電話浪花三〇七九)



最 新 治 行
貴婦人用
毛髪の發育を助け匂ひよくさ
らさらとしてよき艶を出す

壹
樞
詰
合

發賣元
東京馬喰町三丁目
板橋百花堂



戊申元旦の本紙

「未も早や去りて戊申の春を迎へんとするに當り、吾人は例に依りて新意匠の盛粧を凝して元旦の御慶を述べんことを圖り、年來の意匠を參照し、範を他の新聞雜誌の考案に取らんとしたるに、機知と智慧な考案に取らんとしたるに、機知と智慧なものを、企圖する考案には、必ず一種の厭ふべき臭味ありて、千篇一律、何等自己と關聯なき繪附錄、壽語錄添付するの外、絶えて意匠らしきものを見出しえず、

思ふに今より十數年前に在りては、是等の附錄を初刊に添へなれば、讀者は定めし驚きしならん、今や全國の新聞殆んど皆之を添ふるに至りては、意匠考案の陳腐へしむべきものを求めで

全國の名勝風俗

の粹を蒐集し、度して其地に遊び、その風俗を觀るの感あらしむるの策を取り、戊申元日の本紙初刊には、在來れる繪附

錄の陳腐、壽語錄の無益謀りて同業と密接の關係ありて趣味と實益とを併せ備へしむべきものを求めて

目的を達せしめ、効果を大ならしむることを期し、燐然たる光彩は海の外に輝き渡るべきを信ず、其果して諸君の眼を射るべきもの如何に就ては、戊申元旦に於て徵せられよ、

韓國京城博覽會に於て齒磨中一等賞を得たるは獨りダイヤモンド齒磨あるのみ

來春の初刊

兎に角破天荒の意匠

は、例年に見せ商機活用の上には缺くべ

東京勸業博覽會

は申せ商機活用の上には缺くべ

受賞者に謹告す

らざる儀として遲くも本月十五

本年も早や二旬を餘すのみにて

日を限り御差出と願度、以後は一切

御断り申上されば、一日位

は勿論とも劣らぬ積りにて勉強致し居れば、

本年も新粧は、果して如何にお化粧を述ぶるに御承知と願ふとして、

御慶を述ぶるとき御承知と願ふとして、

御化粧を頗り置かねば、逆も

御断り申上されば、一日位

は勿論とも劣らぬ積りにて勉強致し居れば、

御因循なき機切に警告仕り候

御断り申上されば、一日位

は勿論とも劣らぬ積りにて勉強致し居れば、

御因循なき機切に警告仕り候

御化粧を頗り置かねば、逆も

御化粧を頗り置かねば、逆も

御化粧を頗り置かねば、逆も

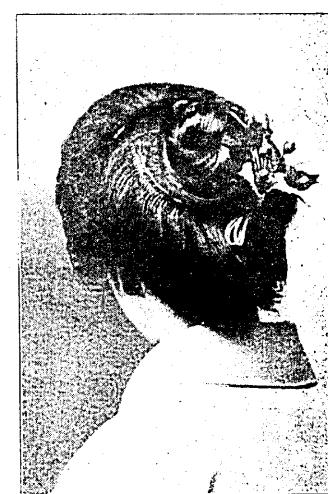
御化粧を頗り置かねば、逆も

御化粧を頗り置かねば、逆も

御化粧を頗り置かねば、逆も

御化粧を頗り置かねば、逆も

御化粧を頗り置かねば、逆も



白紫紅



本年の終刊

本年も早や二旬を餘すのみにて

初刊の準備に忙殺せられ、三回の發刊

して來春の初刊に力を注がんと致

まことに

は力及ばず、例年の通り三回の發刊

送丁未歲

勿々乎として丁未の歳は逝かんとす。汝水日落夜舍かす。歲末亦人一事とを待たず。明日ありと思ふ心の仇櫻なることを悔ゆ。既に遇く、追憶して愚拙を述ぶる。丈夫兒の事にあらず。而かも丁未を送るに臨んで。一音の別離なきを得ざるは、愚拙にあらず。放言にあらず。實に業界の爲めに紀念會

東京小間物化
粧品卸商同業組合錄事

獻けでの氏せ主

寄贈金

明治四十年十二月九日

は田中君が大晦日も必ず目を瞑るべし

偽造事件の判決

内外一切の業務
はくぎやうむ

を擧げ

東京小間物化粧品
助氏令闈シゲ子は

のなり
の貢
大の貢
先人
注目
名前
代理
三光
飼光
鳥飼
營業監督
のなり

の如何はしき解説を詐りて種々の
値勉強堂と稱して
が此際ヘプリン
自せらるべしと

此段謹
日本而
三丁面
大通

貢と稱し中仙道、與羽、北
御し如何はしき物品を賣
候者有之候由に付御注意告
候也

三が雞前號用兵禁せらした

富川兵三の取消請求事件
報欄内外に丸見屋商店を買取る旨を報道して一般同店員柴木啓三と結託して結果皆三は解雇され兵三は

求
りし富川^{あかね}
商品を盜^{ぬす}

百餘間の道路は
共々この土地だけは
地買收費三百八

は買収せざる
は永久保存す
は永久保存す
は支出したれ
は支出したれ

アベキニ依リ是ゼ
アハ残リ百卅萬
アシメ青山北町の

又特許出
程脱稿し
せられな
て帝國議
△博覧會

品保護に關
る去る二十五

する法律案
に於ては既に參事
局としていわゆる
許局提出

の草案も此
官會議に付
法律案とし

官管理の下に全敷地の高低測量に着手したるに二十六日に至り練兵場と御料地との聯絡道路幅員三十間乃至八十間延長七百餘間に亘る六百六分の一の測圖を終りたるが全敷地の測圖終了期は十二月中旬の見込なれども天候の關係にて下旬になるやも計り難しと云ふ

ばら歯磨園光東大々的品景大引福!!!

全國御得意諸君に謹告

本園は來る明治四十一年の新春を祝し併せて各位平素の御愛顧に酬ゆる爲め大々的發行を以て左記の内規により景品附初荷發賣仕候間何卒連續御注文被仰聞度伏して奉懇願候

ばら歯磨本舗 東光園 山根光次

但し本券は景品引換期間後は無効とす

景品附ばら歯磨初荷規定

發賣樁數 壱千樁

發賣期間

明治四十一年一月二日より同三十一日迄とす

初荷樁の種類及一樁の員數と其價額

一詰合樁 袋四打入一函に付金六拾四錢貳拾函入

一樁に付金貳拾參圓參拾錢

一特別樁袋四打入一函に付金六拾四錢四拾函入

一樁に付金貳拾五圓六拾錢

福引景品種類及籤數

一等一

本 金庫價額壹百五拾圓又は額面五拾圓整理公債
自轉車臺價額壹百圓又は額面百圓整理公債
音器壹個價額壹百圓又は額面百圓整理公債
證書壹枚

二等二

本 金側時計一個(價額五拾圓)宛

三等三

本 銀側時計一個(價額貳拾圓)宛

四等五

本 裝飾名入函車二輛(價額拾六圓)宛

五等十

本 博多帶一筋(價額五圓)宛

六等三

本 手提金庫一個(價額參圓)宛

七等五

本 縮緬帛紗一枚(價額貳圓)宛

八等十

本 置時計一個(價額壹圓五拾錢)宛

九等百

本 郵便はがき參拾枚又は
意匠新なる切手附繪葉書參拾枚宛

景品引換券の配附

景品引換券は之を明治四十一年度の高尚優美なる略曆に添付し各一樁に付き壹枚宛を挿入するものとす

抽籤

抽籤期日 明治四十一年三月七日午後二時

抽籤の場所 東京市丸の内中央亭

抽籤方法 抽籤の方法は東京毎日電報社の抽籤器を借り受け立會員として各代理店諸君及び都下各新聞社の記者諸君の御臨席を乞ひ覆面の小兒をして順次之を抽き取らしむ

但し販賣店諸氏にして御立會御希望の御方は隨意御臨席有之度候

結果發表 抽籤の結果は明治四十一年三月十一日發刊の東京小間物化粧品商報紙にて發表するものとす

景品贈呈

景品は明治四十一年三月十五日より同五月三十一日迄の期間内に東京本舗に於て景品券と引換に贈呈するものとす

但し景品の送達を望まる、御方は景品券御送附の際送料御添付被下度候

注文御申込

注文御申込は從來御取引の特約代理店又は東京本舗及大阪支店の何れにても御隨意たること

代金取引

初荷樁の發送は注文書の到着順に從ふものとす

代金は初荷樁に限り特に現金取引のこと

(注意) 右初荷樁は發賣期間内と雖も定數賣切の場合乍遺憾御注文に應じ難く候

東京市京橋區南紺屋町 東光園

大阪東區博勞町一丁目

大阪支店

(六)

大博延期說に就て

(某當局者の談)

来る四十五年開會の日本大博覽會と明治二十年に延期して今上皇帝陛下の御即位五十一年紀念と紀念すべし四十五年に開會するなことは何等の意味もなきことにて刺國費多端の際なれば明治五十年に延期せば我財政も堅固となり経費の點に於ても遺憾なるべく市府の設備も完かるべし云々との主張を以て一部の論者は延期説を唱道し居れるも我大博覽會の目的は唯お祭的に千萬回二千萬圓の金を消費するに非ずして日露戰役

にして我國民洋行の費用として僅かに二千萬圓否五百萬圓を提出することは殆んど無理である。然るに金圓旅行の感あれども博覽會局者は此些問題を以てしては日本大博覽會とし耻かしからぬ經營をなさんと焦慮しつゝある。次第より延説論者は今日まで列國の開會せし大博覽會は何れも紀念的に經營せられたたりとて單に博覽會をお祭道具と心得居れども列國が經營したる大博覽會は何れも其國運發展の最要分子に當り列國の注意を惹くべき何等かの口實即ち紀念とか祝典とかの名目の下に世界の注目を集め開設せられたるものにして我國が日露戰役に依つて大々的廣告をなし列國上下の人心に一大感動を與へたる我國に大博覽會を經營す



現今財界の大厄とも稱すべし者三種あり。財政方針の未確定、買收鐵道代價公債交付附期の未定及び新事業の今後も覗れども決着せざるもの少なからざることは是れなり。第一四十二年度以降の財政方針確定せざる以上は金融前途の大勢に於て如何とも見込を立つるに由なく増税、公債政策なり。其方針さへ一定すれば、融上に及ぼす影響も豫め推測し得るべく從つて、事業資金其他の

RECEIVED **SEARCHED** **INDEXED** **SERIALIZED** **FILED**

An illustration of a woman with a bun hairstyle, wearing a patterned kimono. She is looking slightly to the left. The background features vertical text for a cosmetic advertisement.

意匠登錄

いろしお玉



清國雜誌

追々と變化つゝある支那人の風俗を見る
と支那の風俗は決して全くの西洋風とはならず左れば日本風ともならず西洋五分と日本五分とを支那の地金に鍛をして様な有様に成ると言測して居る然らば其風俗の變化は如何なるやと云へば次の如くである
帽子は鉢付き或は鳥打ち鞋は革製鞋下は木履安手巾はハンケチ浴巾はタオル眼鏡は目利安煙草は葉巻又は紙巻帽子は石留香煙は香水と云ふ様に變りて支那固有のは廢物となる丈外西洋品の需要が多くなる今段々たりかゝつて日本のが流行し始めたのである夫の多く佛國の商人が京都西陣にて日本風はと云へば衣服の縫柄模様でそこで日本風はと云へば衣服の縫柄模様である此縫柄模様と云ふ事に至ては西洋的は何んと居たる西陣の趣味が模造しきれぬので西陣に一二歩を譲て居る然るに桐生足利當り織りの模造物を近來輸入し始めたのである佛國ばかりでなく獨逸商人も模造して来る何んと居たる西陣の見方其佛朗西鏡を何んと居たる西陣にて當地に輸入するにはナチ御氣が付き過ぎると思ふ所がある夫れより桐生足利の特製で支那向き絹布を模造して來るゝ模造よりも製造に容易でこの桐生足利絹布と模造して當地に輸入するにはナチ御氣が付き過ぎると思ふ所がある夫れより桐生足利の特製で支那向き絹布を模造して來るゝ模造よりも製造に容易でこの桐生足利絹布と云ふ一種のものを賣り廣めて佛商をして却て模造せしむる地位に立つ事が出来るのである製造家は何んで商人をして模造せしむる地位に立てなければ面白くもなければ儲けもない佛國當りの模造品中には原物より秀越したものがある本邦の模造は常に原物より劣等である。
夫れは商人の腕がないので上等品を賣扱く力がないのである。日本の御商人様よ支那はなんの爲めに佛國製の絹布或は西陣の織物を賞美するのであるか能く考へて御覧なさい品質が上等で價格が廉廉であると云ふ所に彼等が望を屬するのである若し彼等が

は無論贅品であるから能く其贅満的略好に投する様にせねばならないのである本邦の旅客が古渡り店経営が低廉所に在る譯である若し古渡り店経営が低廉なる外とした時には誰れが賞美するであらうや此商人の着眼點と云ものである。支那人が風俗の變化付き追々と需要し來るもののは殆んど歎限りしき事であるが本邦から輸入の出來ぬものは一つもない。云ふ事無く支那民俗の如何なる階級のものより着手するのである。斯る社會の前後の社會から始まれば云ふまでもなく中華人民共和国の社會から來るのであるから其のなかに無禮虚榮心から來るのであるから其の虚榮心に投合すべき需要品を選択するのが肝腎である然るに本邦商人が廉價と云ふ點にのみ着眼して彼等支那人の流行の需要を充さんとするのは己れを知らぬといふものである。

色彩と感情

卷之三

會覽博外內於金
領受牌賞銀
陸海シカゴ
軍御用みやげ
美印はみがき

○本品は老練と學術と平行せる合理的衛生齒磨にして、苟も廣告手段をかり商略を濫用し世人を疑惑の淵に陥るゝ者と全く其比を異にする宜なり。陸海軍御用の光榮を擔ふ。



(綿結) 俗風京東

今は肌のあれ易き

時季化粧水

最も必要なのは

颜料の選擇が
大切な事



製郎富瀨長町喰馬京東舗本鹹石王花

何れの貴婦人方にも
化粧料として賞用
せらるゝは一八水なり



るとか言ふ事は誰れども知つて居りますが、昔は黒子を書く事が流行つたもので、夫れが進歩して来て一寸黒子然たるものと張つて置くやうになつたところ段々と人に競争心を起して、誰のは二分だから、私は三分にする、四分にする、五分にすると次第に大きくなる、其中には空飛な婦人が出て丸いのばかりでは面白くないから花の形や星の形に仕様とか言つたやうになつた結果今日から考へると如何にも走馬燈々々しきら星や花でも興味がないと今度は舟の形を附ける人か出来れば馬車の形を貼附ける人も出来て、まるで走馬燈の切抜き書のやうなものと、所構はず顔中ベタベタ貼つたものであります今から見ると、曲馬が何にかかるのテヤツのやうですけれど、昔歐羅巴では

もので、これを始終喰むで居るやうに見せ
る事が、彼等の誇であるが爲めに始まつた
のです、それに一つ娘時代には贅澤として
多く用ひられた櫛櫛子を人の妻となれ
ば存分に喰べるそれで歯が黒くなる、即ち
歯の黒いのは人の妻であるといふ證據にな
つてゐたので、日本の多分この風俗が傳
はつて來たのであらうと思はれます▲元祿
模様の歯ある歯醫者の話によると、日本
の方で満足な歯を抜いて、飾りの爲めに
金歯を入れる方があるさうですが、南洋あ
たりの土人も歯の飾りを盛んにやつて居
ます、夫れは歯を一枚置きに抜いて、其の
隙になつた歯へ赤や青や黄などと塗るので
また一寸言へば元祿模様の、市松と言つた
やうなものにするのであります

婆アさんや娘の身の上判斷をやつて、幾つかの金を貰ひ、昨日は村落にゐたかと思へば、今日は市街にゐるといふ風で、居所は常に一定せず、自分の意に委せて各地を海陸轉する。偶には人家に這入つて雞鳴棒をやり、家人や警官が認めて之を叱らうとすれば、彼等は何時の間にか姿を隠してゐる。だが、又たゞ人家のない郊外へ出た時は、車を樹林に繋いで、附近を悠遊してゐる。

▼身長よりも長い髪 アメリカの未開拓地では、男のはうが女よりも頭髪を長くしてゐる村落がある。此村落に住める人が、車の首領を選舉する際には、頭髪の最も長い男が選舉される。間には身長よりも長い髪をもつた男があるが、これらは仲間のうちで頗る尊敬されてゐる。

やうになるの
です、併しそ
東れでは歯に白
い所や黒い所
が出来て可笑
しいから、一
體に黒く染め
たのもあり
ます梅干子は
非常に高價な
(髪) 東風俗
京い所で
双方から赤い舌をべろりと出す、久しく塗
はなかつた舊友などには、舌を殊更長く
出して、互ひに懶惰の意を表するのである
二頭馬車に住む賣卜者、此奇怪なる人種
は、歐米にもむれば、亞細亞の一部にもむ
る、彼等は凡て馬車をもつて己れの家屋に
なし、馬車は大抵二頭馬車を用ひ、馬車に
は寢室もあり、炊事場もあり、煙突、棚、
便所など巧みに搭へ、又小鳥を愛して馬
車之内に之を養うてゐる、そして皮寧は

面白婦人の裝飾

實際これを行つたのであつて、今日でも小
さく馬鹿を占ふるといふ事は賛美人社會であ

風俗奇

キメチニキ 四十一年度 ▲初荷添附品割合

式キメチソキ ▲發賣期間

四十年十二月十日より四十一年一月十日迄
（小二十一箱詰）
（中二十一箱詰）
（大半打入）
（三十箱詰）
一相葉畫
一相葉畫
一相葉畫
前項葉畫書

添附賣期間は再び來らす好機逸する勿れ

キメチニキ本舗
東京代理店 中外化粧品問屋
東京市馬喰町三丁目
土屋美國堂
長電話三七五〇〇番
振貯座三七五〇〇番
名古屋市

名古屋市
土屋

美國堂長電話七五〇八三八〇零
旅館口座三三八〇零
町三丁目

WOOLEN YARN

五
三
二
一
正
大
日
十
萬
國
泰
裕
昌
永
年
大
中
國
泰
裕
昌
永
年
大
中

三一五三番音語局

商

標

錄

登

純白浮製

總て石鹼は純良なる程量目輕し之に反して混合物多き石鹼は其量重きものなり

此ミクニ石鹼は色を白く水に浮く程度まで精製したれば如何なる人にも試験

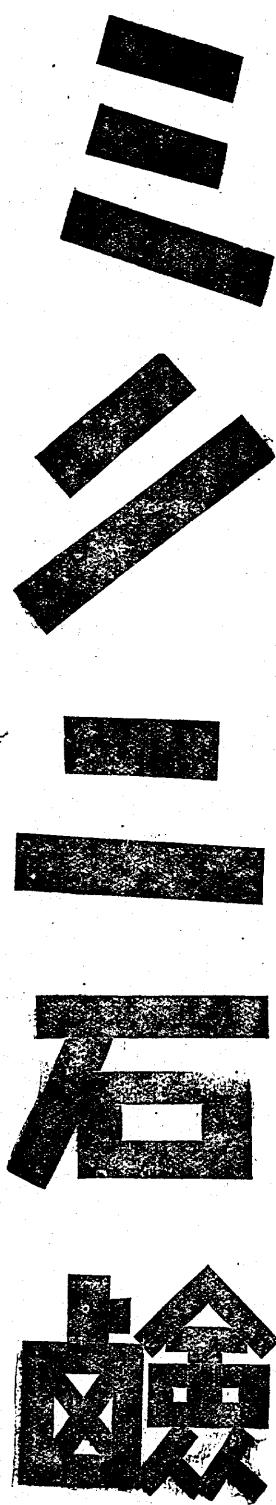
するに容易なり

御試用の上御高評を賜はらん事を希ふ

東京小間物化粧品問屋聯合發賣

石鹼良否の鑑別法

石鹼を水に浮かして見るは品質の良否混合物の有無を鑑別するに最上の方法なり



印度人の愛國心

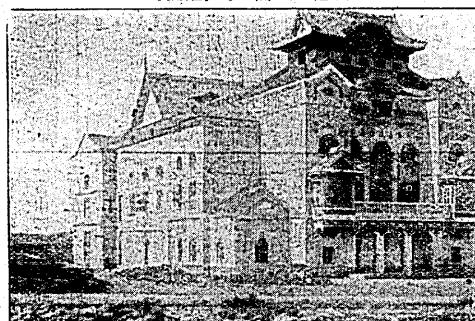
在印度支那東晉書

(場劇喜) 物風の連大

印度人の愛國心

(在印度實業學生廣告)

印度國內殊にカルカッタ市を中心として、シガル地方に於て新聞に廣告に説教するに當る用ひらるゝハンドマーダラムなる語ありハンドマーダラムとは何を意味するかと云ふに字義を以てすれば國家を尊んで意義を以てすれば愛國なり是れ即ち人骨體の精神にして發憤の氣魂なり此の精神の氣魂は一期一夕に勃興せしものに非らず其萌芽は既に久しき以前に現するに至る可きは自然の勢ならと云ふ可し印度は古代に於ては實に文明を以て世界に冠たりしもの遂に彼等の自ら云ふ所謂者文明國となりしも印度人の根柢に伏在せる氣魂は多年の苦難に遇つて漸く固く加ふるに幾多の有志は諸文明國に學びて新進の思想を養ひ尙ほ進んで國民意識を促し來りたる結果遂に今日のバーマーラムを絶叫するに至りしものな千九百五年的印度人の政治的懲感はなる結果を生せしや多くの人の説く所によれば人々口にハンドマーダラムを述懐する事に一致し持てるものは捨て貽行し勢頗る熾烈なりしが其運動は一轉して特にバンデマーララムなる機關競争的品の運戻となり人民は繼て外國製品列を爲して市中を練歩き公會演説を開ひざる事に一致し持てるものは捨て貽るもののは辟き上下通じて其目的を貫徹



英國と日本

英國と日本



東京本所御酒屋錦塚町

The advertisement features a large illustration of a woman's face on the right side. The text includes:
大注意 (Great Attention)
前髪じん (Forehair)
出せり特に米國製と御指定を乞
本橋御園發賣元 丸見屋商店 (Manufacturer: Maru Mienya Shop)
和洋小物店 (Shop for small items)
新奇の便利の商品元請け
むるの便利の商品元請け
本橋區堀江町二丁目五番地 (Address: 2-5-5 Horikawa-cho, Kanda-ku, Tokyo)
日本橋區横山町一丁目四番地 (Address: 1-4-1 Yokoyama-cho, Kanda-ku, Tokyo)
電話浪花一千五百八番地 (Phone: Naniwa 1508)
本店 平谷合資會社 (Main Store: Heiwa Gohsisha Co., Ltd.)
廉價現金 (Affordable Cash Price)
支店 平谷合資會社 (Branch Store: Heiwa Gohsisha Co., Ltd.)
小間紙部 (Small Booth Paper Department)
花の都白粉 (White Powder of the Capital City)
花の都玉白粉 (White Powder of the Capital City)
石鹼容器 (Soap Container)
洗濯用石鹼 (Detergent Soap)
水牛楊枝各種 (Various types of wooden toothpicks)
外石鹼 (External Soap)
内石鹼 (Internal Soap)
香油 (Olive Oil)
各種 (Various types)
水各 (Various waters)
香粧 (Cosmetics)
美顏香玉白粉 (White Powder of the Capital City)
美顏香玉白粉 (White Powder of the Capital City)
牙磨各種 (Various types of toothpastes)
齒磨各種 (Various types of toothpastes)
煉外石鹼 (External Soap)
煉內石鹼 (Internal Soap)
丸妻小楊枝 (Small wooden toothpicks)
丸妻小楊枝 (Small wooden toothpicks)
雜貨種々 (Various goods)
共御用命願上候 (Willing to serve)
鉛化粧品 (Cosmetics)
鉛化粧品 (Cosmetics)
元 (Original)
元 (Original)

但し前を要す。有者事
東京市横山町一丁目十四番地
中庄 杉谷庄兵衛
製造元
電話 漢花二二〇四 押持
(電) 雪ニスナヤ
尙遠隔地御得意様御便利の爲め
注文品の際は拙店取扱ひ外の事
にても無手數料にて貲次第御同
送申上候也。

特別製造 紙銀草入類
紙幣 入類
千代田袋類
烟草入類
御守巾着類
御用金具付帶類
御行品各種

萬世昌
金屬雕刻
銀四分一張
製
星西銀
張金製
純銀製
懷中持各種
洋白銀金製
实用真鑰匙

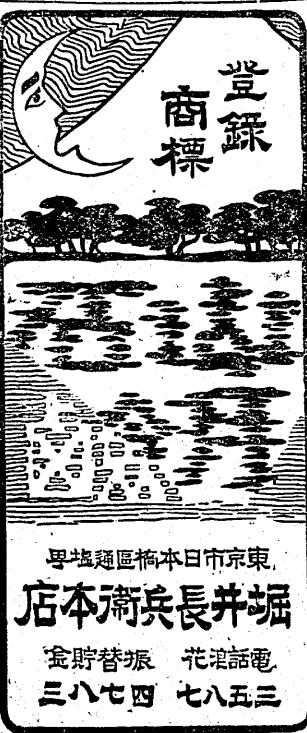
板硝子製造の成功

驗をなし之が爲に約一箇年半の歲月を費し
たるもの多々見るべき結果を得る能はざりし
て、第一別期コロニヤする
りたるは昨年十一月の末にして實に前後二
個年に亘る苦心の結果なりと云ふ

清國度量衡の書

美顏水は品質最精良

ベンキ並ニ黒塗看板箱車浅草前天王橋工業舎ニ限ル



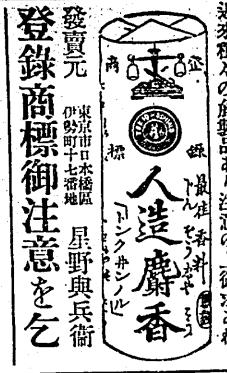
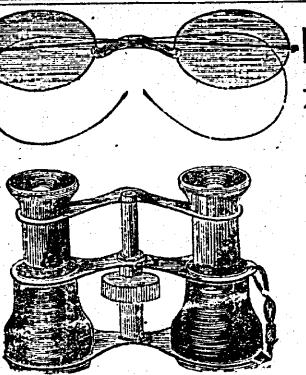
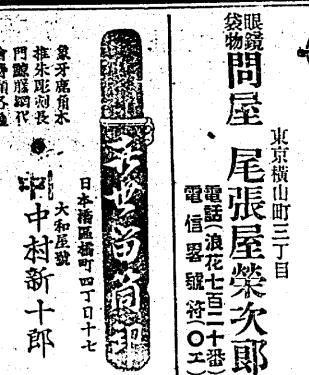
東京市日本摘區題塙里
堀井長兵商店
電話花旗 振替貯金
三八五七 三四七八

芳香の佳良なるは一度使用せし人の
忘るゝ能はざる所なり。又其の一個毎に大は一錢小は五厘に
引替得べき包紙を添付し有るを以て
特色となす。

製造士・舗東京西條

定價大形二十錢小形一ヶ十錢

芳香の佳良なるは一度使用せし人の
忘るゝ能はざる所なり。
又其の一個毎に大は一錢小は五厘に
引替得べき包紙を添付し有るを以て
特色となす。



東京星野の人造麝香

近來種々の偽製品あり注意の上御求あれ

登録商標御注意を乞

發賣元 東京市日本橋區十七番地 星野與兵衛

最優秀者

登録商標會社



HER EST MADE
SUMIRE
VIOLET PASTE
オホルカシム
トキホシハ
製入い

牌

標

功

銅

獎

會

品

登

錄

商

標

會

社

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會

會



伊營 勢業 幸品 商目 店錄



未見者より八十萬圓

「婦人の顔は其の財産なり」とは風と耳に
する所なるも姫にいふ米國ミルウォーキー

のリヂアベシュケ嬢の如き事例は殆ど未
有ると稱す可く殊に其八十萬圓の財産を贈
りたるものか未見の人なりといふに至つて
益々驚かざるを得ざる可し同様は娘と稱
する實は既婚者にしてツイ此頃までボーリ
ロゼンタールなる人の夫人なりしを

離婚して又娘と呼稱することを許されたる
なり娘の知人にシーライ・ショーンスな
人あり本年五月商用を帶びてメキシコ

に起りこととなりしか其際娘と其子供の寫
眞一葉を貰受けて旅程に上りたることを抑

フズアベニューの邸宅より引き連れて來
る所麗なる大旅館は未だ其營業を開始

せざるに先ち早く既に常住宿泊人の申込
エドワード・エヌ・ボンドなる人は其長き
経験よりして嘗てホテル生活を以て理想的

生活なりと云ひし事ありしが此の刺戟を受
けしものか多數の人々は今や漸く氏の言に
倣はんとするものゝ如く續々開業の運びに
至れる所

至る所處は女では頬輪、腕環、留針、
留留、向指等、男では留針、カフス、紐など
真珠に移して其れに乘替へ或は雨から珍重
するやうになつて來た、真珠の應用せらる
、範圍は迄は女では頬輪、腕環、留針、

留留、向指等、男では留針、カフス、紐など
であつたが近頃日本上の上流婦人社會に於て
益々盛になる傾向が見える、從來金剛石や
ルビーを愛好して居たものが漸次と趣味を

交際を結び互に訪問を交換するまでになり
て不団マン

て不団マン

て不団マン

て不団マン

て不団マン

て不団マン

じ去り居たらとのことなり左れば娘はマン
ダ氏の死後其の報に接して殊ど夢かと云ひ且つ喜びたりといふ

ホテル住ひの流行

眞珠の新流行

敷島ムスク石鹼初荷

のにして是等紙業最近のホテル六個の價格
を合計すれば四千二百五十萬弗に上るべし
と云ふ

近來寶石類の内で眞珠の流行は日を追ふて
益々盛になる傾向が見える、從來金剛石や
ルビーを愛好して居たものが漸次と趣味を

交際を結び互に訪問を交換するまでになり
て不団マン

て不団マン

て不団マン

て不団マン

て不団マン

て不団マン

て不団マン

て不団マン

て不団マン

石鹼は深厚なる各位の御愛顧を蒙り販額日に月に多大に赴き製

造間に合はざる程の盛況を呈し候は深く感謝に堪へざる所に御座

候尙ほ此上奮つて品質改善に勉むべきを明言致候本年も最早年末

に近づき候に付聊か平素の恩顧に酬いんとの微表を以て今回一千

箱に對し左記の如き規程の下に景品附發賣を致す事に相定め候尤

も柵敷に限りある事なれば此機を逸せず成るべく迅速に御用命被

仰付度此段伏して奉願上候敬具

謹啓各位益々御盛榮奉慶賀候陳者弊社製造の敷島ムスク

のにして是等紙業最近のホテル六個の價格
を合計すれば四千二百五十萬弗に上るべし
と云ふ

發賣柵數及方法

前記壹柵毎に包込葉書の外に尚ほ郵便端

千 柵

同 斷

同 斷

大形

(壹打每に郵便)

二十四 打入

壹 柵

(此包込葉書)

四十八 打入

壹 柵

(同 斷)

同 斷

小形

(壹打每に郵便)

四十八 打入

壹 柵

(此包込葉書)

四十八 打入

壹 柵

(同 斷)

同 斷

○發賣柵數

壹

千 柵

(此包込葉書)

四十八 打入

壹 柵

(此包込葉書)

四十八 打入

壹 柵

○景

前記壹柵毎に包込葉書の外に尚ほ郵便端

千 柵

(此包込葉書)

四十八 打入

壹 柵

(此包込葉書)

四十八 打入

壹 柵

○申込期間

明治四十年十二月十日より十二月卅一日迄

但し期間中と雖も前記柵數賣切の場合には御注文を

謝絶仕候

前記壹柵毎に包込葉書の外に尚ほ郵便端

千 柵

(此包込葉書)

四十八 打入

壹 柵

○荷物發送

四十一年一月一日より御注文順による

即ち壹柵に對し九十六枚の割合に有之候

但し期間中と雖も前記柵數賣切の場合には御注文を

謝絶仕候

前記壹柵毎に包込葉書の外に尚ほ郵便端

千 柵

(此包込葉書)

四十八 打入

○價格

從來通り但し凡て前金御拂込みの事

に及ぶしが此程遂にブランシニワヒの

手工を稼ぐ得るに至り延いて多數のカナ

水中に身を埋めて生を送ることとなり此

アをも側養し其技巧驚く可きものあり此

水浴太く効を奏し浴水中は少しも苦痛

を覚えざるのみならず潮次籠、銅綱網等

の手工を稼ぐ得るに至り延いて多數のカナ

○申込期間

明治四十年十二月十日より十二月卅一日迄

但し期間中と雖も前記柵數賣切の場合には御注文を

謝絶仕候

前記壹柵毎に包込葉書の外に尚ほ郵便端

千 柵

(此包込葉書)

四十八 打入

壹 柵

○荷物發送

四十一年一月一日より御注文順による

即ち壹柵に對し九十六枚の割合に有之候

但し期間中と雖も前記柵數賣切の場合には御注文を

謝絶仕候

前記壹柵毎に包込葉書の外に尚ほ郵便端

千 柵

(此包込葉書)

四十八 打入

○價格

從來通り但し凡て前金御拂込みの事

に及ぶしが此程遂にブランシニワヒの

手工を稼ぐ得るに至り延いて多數のカナ

水中に身を埋めて生を送ることとなり此

アをも側養し其技巧驚く可きものあり此

水浴太く効を奏し浴水中は少しも苦痛

を覚えざるのみならず潮次籠、銅綱網等

の手工を稼ぐ得るに至り延いて多數のカナ

○申込期間

明治四十年十二月十日より十二月卅一日迄

但し期間中と雖も前記柵數賣切の場合には御注文を

謝絶仕候

前記壹柵毎に包込葉書の外に尚ほ郵便端

千 柵

(此包込葉書)

四十八 打入

壹 柵

○荷物發送

四十一年一月一日より御注文順による

即ち壹柵に對し九十六枚の割合に有之候

但し期間中と雖も前記柵數賣切の場合には御注文を

謝絶仕候

前記壹柵毎に包込葉書の外に尚ほ郵便端

千 柵

(此包込葉書)

四十八 打入

○價格

從來通り但し凡て前金御拂込みの事

に及ぶしが此程遂にブランシニワヒの

手工を稼ぐ得るに至り延いて多數のカナ

水中に身を埋めて生を送ることとなり此

アをも側養し其技巧驚く可きものあり此

水浴太く効を奏し浴水中は少しも苦痛

を覚えざるのみならず潮次籠、銅綱網等

の手工を稼ぐ得るに至り延いて多數のカナ

○申込期間

明治四十年十二月十日より十二月卅一日迄

但し期間中と雖も前記柵數賣切の場合には御注文を

謝絶仕候

前記壹柵毎に包込葉書の外に尚ほ郵便端

千 柵

(此包込葉書)

四十八 打入

壹 柵

○荷物發送

四十一年一月一日より御注文順による

即ち壹柵に對し九十六枚の割合に有之候

但し期間中と雖も前記柵數賣切の場合には御注文を

謝絶仕候

前記壹柵毎に包込葉書の外に尚ほ郵便端

千 柵

(此包込葉書)

四十八 打入

○價格

從來通り但し凡て前金御拂込みの事

に及ぶしが此程遂にブランシニワヒの

手工を稼ぐ得るに至り延いて多數のカナ

水中に身を埋めて生を送ることとなり此

アをも側養し其技巧驚く可きものあり此

水浴太く効を奏し浴水中は少しも苦痛

を覚えざるのみならず潮次籠、銅綱網等

の手工を稼ぐ得るに至り延いて多數のカナ

○申込期間

明治四十年十二月十日より十二月卅一日迄

但し期間中と雖も前記柵數賣切の場合には御注文を

謝絶仕候

前記壹柵毎に包込葉書の外に尚ほ郵便端

千 柵

(此包込葉書)

四十八 打入

壹 柵

○荷物發送

四十一年一月一日より御注文順による

即ち壹柵に對し九十六枚の割合に有之候

但し期間中と雖も前記柵數賣切の場合には御注文を

謝絶仕候

榮之上買御下殿妃宮東
水粧化ノ一唯ルタ得ラ

水粧化白乳

乳白化粧水レート週年紀念品付發售

本年一月本品發賣以來豫想外の大發展を爲し期年ならずして化粧界を風靡するに至りしは全く大方各位の厚き御引立に依る事と深く感謝する處に御座候。本舗は聊か之が祝意を表する爲め左の規定に依り紀念品添付發賣仕候に就ては何卒陸續御注文被仰付度希望の至りに不堪候。

乳化粧水白レート景品付發賣規定

壹 桶 詰 合 數 大 瓶 五升 壹 打 小 瓶 三十 六 打

景 品 種 數 六百桶の内

貳	拾	桶	貯蓄債券	拾圓
百	百	桶	貯蓄債券	壹枚づゝ
四	十	桶	(東京細子)	壹枚づゝ
參	拾	桶	調製花色裏地	壹反づゝ
百	百	桶		壹反づゝ
四	十	桶		

右之外一時に拾桶御注文に對し箱車(御店名入價)壹臺を進呈す。
右景品は東京小間物化粧品卸商同業組合書記長杉村助一郎東京小間物化粧品商報編輯田中次郎の兩氏に托して各桶に挿入し外部に兩氏の封印を施し公平を期す。

注文期限及發送

景品荷物少數に付本月廿五日迄の御注文を合せ六百桶を越ゆるとときは按分比例に依り出荷可仕

候御注文順に依り四十壹年壹月貳日より發送仕候

發 賣 元

東京市日本橋區馬喰町一丁目 平尾贊平本店
大阪市東區南久寶寺町二丁目 平尾贊平支店

御同業各位此の好機を逃さず至急御注文を乞ふ